

大成と大林を選定

土壤汚染調査対策技術検討調査

環境省

環境省は、実証試験場にある土壤汚染調査対策工事の技術開発を主とする「低コスト・低汚染型土壤汚染調査対策技術検討調査」の2010年度の対象技術として、大成建設と大林組が応募した2件を選定した。また、11年度に選定された日鉄エンジニアリングは、対象技術の評価結果からかした。12年度の対象技術は、

土壤汚染対策法で定める特定有害物質、ダイオキシン類、鉱油類で汚染された土壌の調査・対策を募集。大成建設は「難分解性のシアン化合物に対する原位浄化対策技術」、大林組は「微細な酸化鉄粒子の注入による汚染拡散防止壁の形成」で応募した。12年度末までに技術開発の評価結果を公表する。

また、11年度の対象技術として選定された日鉄エンジニアリングは、対象技術の評価結果からかした。12年度の対象技術は、

アリンクの「ハイブリッドスパージングにおけるオゾンによる鉱油類汚染

省ム
ラ
交一
国フ
中古住宅の流通活性化で提言

物件情報の整備・提供を

国土交通省の「不動産流通市場活性化フォーラム」(座長・中川雅之日本大学教授)は20日の会合で、中古住宅の流通を

骨子をまとめた。この中では、劣化状況や耐震性能、省エネ性能、修繕履歴情報といった物件情報の整備・提供が重要と指

イエサブユナイテッドがセミナー

賃貸マンション
ン建築 ノウハウを公開

イエサブユナイテッド

(荘司和樹社長)は21日、ルーテル市ヶ谷センターで賃貸マンション建築の計画ノウハウ公開セミナーを開催した。参加した設計事務所、施工会社、不動産会社などの約60人に、実例モデルを使って設計・施工時の注意点を説明した。写真。

実例モデルは、同社設計の「月島の集合住宅」。設計を担当した同社の石黒嘉晃氏、融資に関する



金融機関との折衝や収支

コミュニケーションの作成を担当したグローバルマネーコンシェルジュの玉木聡貴氏、施工を担当した大雄の奥野克己氏がそれぞれの立場から解説。

また、東急リロケーションの大原大輔氏は、管理会社の役割や選定の際の注意事項について説明した。

次回は、5月18日に被災建物の構造性能を回復させる設計ノウハウセミナーの開催を予定している。